

# 関東信越厚生局 令和5年度 地域包括ケア事例研究会

(生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置事業及び協議体の設置・運営)

## 1 開催趣旨

平成27年度の介護保険法改正により創設された生活支援体制整備事業のひとつである生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置事業は、高齢者の生活支援と介護予防を目的とし、各自治体における高齢者の自立した日常生活を支援するために市町村が主体となって実施されている。

管内の自治体では、生活支援コーディネーターが地域の資源やニーズを十分に把握し、高齢者の日常生活を十分に支えている好事例があると考えられる一方、地域の生活支援コーディネーターの中には、活動するうえでの様々な不安や悩みを抱えているという声も聞く。そのため、多様な主体間の情報共有の場となる協議体の役割も非常に重要である。

ついては、関東信越厚生局において、管内市区町村の生活支援コーディネーター及び当該事業を担当する自治体職員の方々を対象として、生活支援コーディネーター及び協議体の役割や活動に関する講演や関係者間での意見交換を通じて、今後の活動等のさらなる向上に向けてヒントを得ていただくことを目的として、本事例研究会を開催するものである。

## 2 参加対象

管内市区町村の生活支援コーディネーター及び当該事業担当の自治体職員(募集数50名程度)

## 3 日時

令和5年7月10日(月) 13時30分～16時30分

## 4 開催方法及び場所

(1) 開催方法: 集合形式

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン(Zoom)開催に変更となる場合があります。

(2) 場所: さいたま新都心合同庁舎1号館1階 多目的室(案内図参照)

(埼玉県さいたま市中央区新都心1-1)

## 5 申込方法及び事前提出資料

(1) 申込方法

別紙2に入力のうえ、メールにより令和5年6月23日(金)までに申込みをお願いします。

(2) 事前提出資料

アンケートにつきましては、申込以降、令和5年6月30日(金)までにご提出をお願いします。

## 6 内容(予定)

(1) 挨拶及び趣旨説明

(2) 行政説明: 関東信越厚生局 健康福祉部 地域包括ケア推進課長 熊野 将一

(3) 講演: 公益財団法人 さわやか福祉財団

共生社会推進リーダー、社会福祉士 岡野 貴代 氏

(4) 事例紹介: 南アルプス市(山梨県)

第1層生活支援コーディネーター 斉藤 節子 氏

第2層生活支援コーディネーター 小林 陽一 氏

(5) グループワークによる意見交換及び発表

(6) 閉会